

県民の森の植物 77 コミネカエデ (ムクロジ科 カエデ属) *Acer micranthum*

県民の森には様々なカエデの仲間が自生、植栽されており、季節毎に花や実、紅葉などを楽しめます。カエデ類の花は、4月～5月にかけて樹種毎にリレーをしているかのように咲きますが、県民の森で最も遅く咲くのがコミネカエデ。つきだしたブラシのような形の花序に小さな緑黄色の花が多数つきます。カエデの名の由来は「蛙の手」。深い切れ込みが特徴ですが、コミネカエデの切れ込みは非常に美しく、葉の先端が長く尾のように伸びます。七滝登山道をずっと登っていくと、もう少し標高の高い場所に自生する似ているミネカエデが見られます。コミネカエデは先端が長く伸びるので、葉で見分けられますが、紅葉はミネカエデが黄色、コミネカエデはオレンジ～赤色に美しく色付くことでも判別できます。これからの紅葉が楽しみです。



葉 【左】コミネカエデ 【右】ミネカエデ



冬芽が割れた 4/17



新緑 5/15



花 6/4



若い実 6/25



紅葉 10/29



紅葉 【左】コミネカエデ 10/30 【右】ミネカエデ 9/21